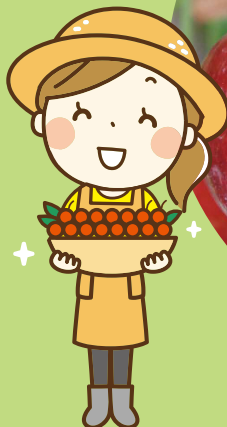


初心者のための

さくらんぼ作業 ガイドブック



新品種
「やまがた紅王」

山形県農業労働力確保対策実施協議会
さくらんぼ労働力確保対策ワーキングチーム

令和2年2月

初心者のための

さくらんぼ作業 ガイドブック

このガイドブックは、さくらんぼ作業のアルバイトやボランティアに興味がある方を対象に、主な作業内容や作業を行う上での心構え、相談窓口等をまとめたものです。

具体的な作業方法については、地域や農家により異なる場合がありますので、実際に作業を行う場合は、農家の指示に従って下さい。

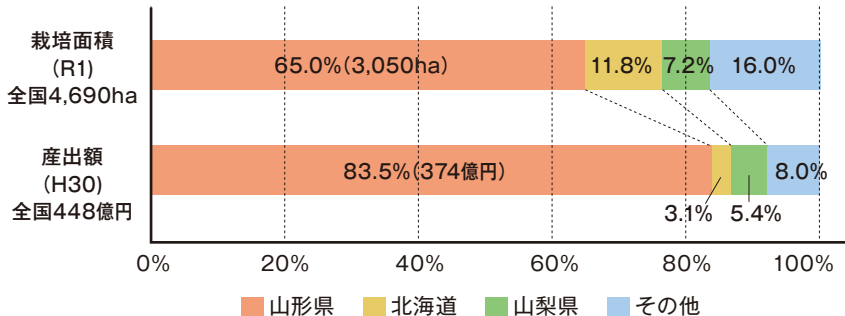
目次 CONTENTS

1	山形県のさくらんぼ	1
2	主な作業内容	
	(1) 摘芽(芽かき)	2
	(2) 人工受粉	4
	(3) 摘果	5
	(4) 葉摘み	8
	(5) 収穫	10
	(6) 選果・箱詰め	12
3	脚立を使った作業の注意点	15
4	作業する上での心構え	16
5	無料職業紹介の流れ	16
6	主産地JAの無料職業紹介所等	17
7	主産地市町の相談窓口	17

1 山形県のさくらんぼ

(1) 栽培面積と産出額

山形県のさくらんぼの栽培面積は3,050ha(R1)で全国の約7割、産出額は374億円(H30)で全国の8割以上を占めています。

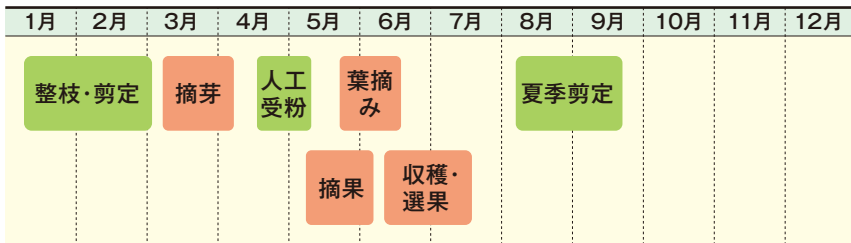


(出典:農林水産統計「令和元年果樹及び茶栽培面積」、「平成30年生産農業所得統計」)

(2) さくらんぼ作業の流れ

臨時雇用や援農ボランティアの方が頼まれる作業には、「摘芽」^{てきが}、「摘果」^{てきか}、「葉摘み」^{はっ}、「収穫・選果」などがあります。

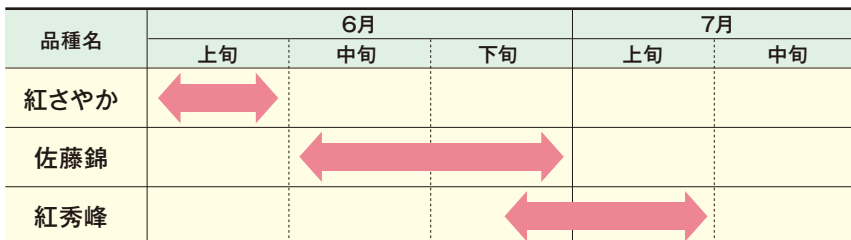
●作業時期の目安



…臨時雇用の方が頼まれる主な作業

(3) 主な品種の収穫時期

●村山地域における収穫時期の目安



2 主な作業内容

1

てき が
摘芽
め
(芽かき)

作業の目的

開花前のつぼみの段階で余分な花芽※1を摘み取り、残った花芽に養分を集中させることで、質の良い花を咲かせます。開花前に花の数を調整することは、その後に行う摘果作業の省力にもつながります。

作業時期 3月上旬から4月上旬

剪定作業の終了後に作業を開始し、開花前までに終わるようにします。

作業方法

- ア 葉芽※2の隣の花芽を2～4芽程度残して、残りは落とします。
- イ 残す花芽の数は、品種や樹勢により異なりますので、農家に確認して下さい。
- イ 芽の先端を親指で押さえ、基部の方向へ押し倒すように取ります。
- ウ 葉芽は落とさないように注意して下さい。



摘芽前の短果枝※3



摘芽後の短果枝
(2芽残す場合)

※1つの花芽から
3つの花が
咲きます。

用語説明

- ※1 花芽(はなめ)……生長して、後に花になる芽。葉芽に比べ、やや丸みを帯びている。
- ※2 葉芽(はめ)……生長して、後に葉や枝になる芽。花芽にくらべ、やや細長く尖っており、
短果枝の中心部に1つだけある。
- ※3 短果枝(たんかし)……果実が着く短い枝(花束状短果枝)

摘芽作業の有無によるその後の生育の違い

〈摘芽しなかった場合〉

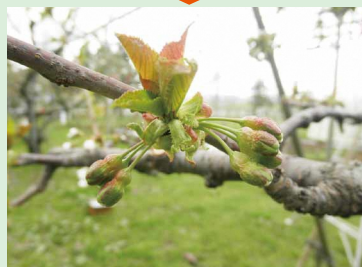


枝にびっしり花が咲く。



果実が適正な量より多く結実し、
摘果作業が大変になる。

〈摘芽した場合(2芽残した場合)〉



花はやや少なく感じる程度。



適正な着果量に近い果実が結実し、
大玉になりやすい。